

「大学生によるまちづくり提案2020」の実施について

1 事業の目的

学生が本市のまちづくりについて意見を表明する機会の創出と、学生ならではの視点やアイデアをまちづくりに活かしていくことを目的とする。

2 事業概要

提案団体が所属する大学、大学院や専門学校の特性を活かし、研究室等における研究活動の一環とするなどの形態をとりながら、まちづくりに係る調査や実践活動を踏まえて、本市のまちづくりに関する施策事業について具体的な提案をする。

(1) 提案内容

- ・ 提案団体は下記の課題に沿ったテーマを1つ設定する。

今年の課題：「FANがつなげる FUNな街」

→ 年代や業種、出身地の違う、宇都宮を好きな様々な人と人の「つながり」や、人と資源、資源と情報等、様々な「つながり」を活かし、宇都宮を楽しい街にするための取組について提案を求めるもの

(2) 提案団体の要件

- ・ 市内にある大学、大学院又は専門学校に所属する学生で構成するグループであること（ゼミや研究室単位のほか、他校との共同提案も可）
- ・ 提案の作成を指導・助言する教員がいること

(3) 提案団体への支援

- ・ 提案団体の希望テーマに応じた内容の出前講座を実施
- ・ 市が保有する施策事業内容や統計データを提供（随時）
- ・ 提案内容に応じ、所管部局へ提案団体への支援（出前講座・意見交換等）を依頼

(4) 提案審査

- ・ 学生から提出された研究内容をまとめたポスター（A0サイズ縦の範囲内）について、審査員が講評を行う。

(5) 提案の活用

- ・ 市の施策への反映状況は、所管部局に対処状況を照会の上、市ホームページ等で公表

※ 裏面【市の事業などに活かされた主な提案】参照

(6) 前年度との変更点（新型コロナウイルス感染症への対応）

- ・ 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、学生等の安全性や授業開始に伴う時間的制約などを考慮し、ポスターによる提案を基本に実施する。

※ 例年行っている「発表会の開催」、「市長との意見交換会」については新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら検討する。

3 スケジュール

- 5月28日～ 7月10日 提案申込受付
- 11月27日 ポスター提出締切
- 11月30日～12月18日 審査員へ講評を依頼
- 12月21日～12月25日 市民ホールにポスターを展示
提案団体へ講評内容の通知

【市の事業などに活かされた主な提案】

- ・ オリオン通り魅力向上計画
⇒ まちづくり推進機構がオリオン通りにて、平成28年度にオープンカフェを試行実施し、平成29年度より本格実施
- ・ ふるさと納税による魅力発信・活性化
⇒ 事業内容の見直しとして、贈答品の拡充・寄付手続きの簡素化を実施
- ・ まちづくりに貢献して愉快ポイントを貯めよう！
⇒ 「高齢者等地域活動支援ポイント事業」が実施されたほか、今後まちづくりなど幅広い分野でのポイント制度の導入について検討中
- ・ Enjoy Lively Sports in Happy Utsunomiya～参加型スポーツ総合サイトの提案～
⇒ 総合スポーツ情報サイト”U-Sports”が稼働

☆過去の実施状況等

- ・ 平成17年度から毎年開催（令和元年度までに計15回開催）
- ・ これまでの提案総数 197件
- ・ 過去3年間の提案課題、応募件数、優秀提案は下表のとおり

年度	各年度の提案課題	提案件数
	優秀提案(提案大学・学部名等)	
R1	SDGsな未来都市 うつのみや	17件
	第1位：あらゆる場面においても、子どもの権利保障に向けた市民参加型アプローチの実践 ～「未来都市うつのみや」におけるSDG16の推進と循環の「わ」～ (共和大, 作新大)	
	第2位：宇都宮まちなかアウトドアリビング Utsunomiya Urban Outdoor Living (UUOL) (宇大建築環境研究科)	
	第3位：宇都宮駅西口大改造計画 ― 目でみてわかる宇都宮 ― (共和大, 作新大, 文星芸大)	
H30	私たちが創る これからの「みや暮らし」	11件
	第1位：「大谷景観復活プロジェクト」 ～大谷地区における持続的な景観維持システムの検討～ (共和大シティライフ学部)	
	第2位：こうえん輪区―Park-PFIを利用した公園連携まちづくり― (宇大工学研究科)	
	第3位：Smarter City 宇都宮 (宇大工学研究科ほか)	
H29	私たちが創る うつのみやの未来	16件
	第1位：みんなで創る花と緑のLRT (共和大シティライフ学部)	
	第2位：みどりの宮マップ～環境視点のまちづくり～ (宇大工学研究科)	
	第2位：地域の人と食が集まるふれあい食堂を実現させるローカルフードシステム (宇大農学部)	

大学生による「まちづくり提案」2020

宇都宮市内の学生のみなさん！

みなさんが暮らしている宇都宮市をよりよくするためのアイデア「まちづくり提案」を今年も募集します。

今年は**ポスター提出のみ**、**提案書の作成は必要ありません！**お気軽にご応募ください！

新型コロナウイルス感染症の流行で1年のスタートが大変な時期になってしまったからこそ、

【参加団体の要件】

- ・宇都宮市内にある大学、大学院及び専門学校に所属する学生で構成するグループであること(ゼミや研究室単位のほか、他校との共同提案も可)。
- ・提案の作成を指導・助言する教員がいること。

【提案の活用等】

- ・提案いただいたグループには参加賞(図書券予定)を贈呈します。
- ・ポスターにつきましては、審査員から講評をいただきます。
- ・ポスターは、市役所1階市民ホールで掲示する予定です。
- ・いただいた提案は、宇都宮市ホームページなどでその概要を公表するほか、優れた提案は、市が行う事業や計画に取り入れることがあります。

今年の課題は……

「FANがつなげる FUNな街」

【提出書類とスケジュール】

！大幅変更！

提出物	提出期限(いずれも必着)	提出方法
提案申込書 提案テーマ報告書	令和2年7月10日(金)	メール、郵送、FAX
中間報告書	令和2年10月2日(金)	メール、郵送、FAX
ポスター ※A0縦の範囲内	令和2年11月27日(金)	郵送または持参

※応募者は上記期日までに申し込み、提出してください(必着)

※今年度は、提案書の提出は必要ありません。

【提案者への支援】

- ・ゼミや研究室等に出向いて施策事業等を解説する出前講座を行いますので、ご希望の場合にはお気軽にご相談ください。
- ・提案にあたり市の施策事業の内容や保有する統計データを提供します。
- ・10月頃に中間の打合せを行います。

【その他の注意点】

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、例年行っている「提案書の作成」は実施しません。今年度の課題のねらいや審査などについて、詳細は「大学生のまちづくり提案の作成にあたって」を必ず参照してください。

※記載内容につきまして、今後の社会状況を踏まえ、変更が生じる場合があります。その際は応募団体に対し随時お知らせいたしますので、あらかじめご了承ください。

お申込み・お問い合わせ先 (受付時間:平日午前8時30分~午後5時15分)

〒320-8540 宇都宮市旭 1-1-5 宇都宮市総合政策部 政策審議室

(市役所6階) 市政研究センター 担当: 加藤

TEL028-632-2059 FAX028-632-7014 e-mail: miyaken@city.utsunomiya.tochigi.jp

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

「大学生によるまちづくり提案」の作成にあたって

1. 皆さんに期待する提案

これからのまちづくりは、市民や団体、企業等と宇都宮市が情報を共有し、相互に理解を深めながら、それぞれの役割や得意分野を活かした持続的なまちづくりが求め

られます。

「大学生によるまちづくり提案」では、学生ならではの斬新な発想や視点を活かした魅力ある提案を期待しています。

2. 提案内容について

下記の課題に沿って施策を1つ設定した上で、実行可能だと思われる具体的な事業・アイデアを提案してください。

(1) 今年の課題

FANがつなげる FUNな街

(2) 課題の説明

まちづくりに人の力は欠かせませんが、日本は、平成20年をピークに人口が減少し始め、本市においても人口は減少しています。特に、本市では、栃木県内の市町からの転入は転出を上回っていますが、東京圏への転出超過が特に大きくなっており、人口減少の原因の一つとなっています。このように、人口減少や人口流出が進むことで、地域産業を支える地域人材や、未来を生き抜く力を持った人材が減ることになり、地域コミュニティを支えてきた各種基盤の弱体化が懸念されます。

そのため、人口減少社会を前提とした、今後のまちづくりの具体的な取り組みとして、人や企業から選ばれることで、東京圏等からの「流入人口を拡大」するとともに、本市と多様な形で関わりを持ち、将来的な移住等に繋げる「関係人口の拡大」を行い、工夫してまちづくりを行うことが重要になっております。

「流入人口・関係人口の拡大」を図るには、本市を訪れてみたい、住んでみたい、住み続けたい人たちの増やすことが重要です。そのためには、本市の魅力や東京圏等の住民や企業に対し発信し、より多くの人たちや企業に関心を持ってもらい、関係性を創出すること、「つながり」を作ってもらうことが大切です。宇都宮に住んでいる人たち同士の「つながり」のほかにも、宇都宮へ通勤している人、宇都宮を知らない人、興味がない人等との「つながり」、さらには、人と人の「つながり」だけでなく、人と資源、資源と情報等、様々な「つながり」をつくっていくことが、解決策の一つとなるのでしょうか。

そこで、今年のまちづくり提案では「FANがつなげる FUNな街」を課題として設定し、学生のみなさんならではの提案を求めることとしました。今後、人口構造が変化してくと、高齢者が増加し、労働人口や子どもが減り、若者の流出も進んでいきます。この変化は、街にどのように影響すると思いますか。それを防ぐため、改善していくためにはどのような試みや「つながり」が必要でしょうか。さらに、「つなげる」とはどのような行為でしょうか。一瞬でも関係を形成することができれば、「つながる」と言えるのでしょうか。つながった後はどうするのでしょうか。持続性は必要ないのでは

うか。今年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、外出が自粛になり、家から出ることが叶わず、対人的に「つながる」ことが断たれ学生も多いことでしょう。断たれたからこそ気づいた「つながる」ことの大切さや、その際発見した「つながる」方法を活かしたまちづくりについて、考えてみてください。

さらに、2022年には「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」が開催され、県内だけでなく、全国から本市に注目が集まります。宇都宮に興味がなかった、興味はあっても知るタイミングがなかった人たちに対し、魅力を発信し、新たな本市の「FAN」を増やすチャンスなのではないのでしょうか。

皆さんにとって「FANがつなげる FUNな街」とはどのような街ですか？誰と誰の、何と何が「つながる」、どのような街にしたいですか？自分たちの視点で、明るく元気な「FUNな街」について、さまざまな提案をお待ちしています。

(3) 留意点

- ・ 市では、幅広い分野に渡り様々な施策事業を実施しています。みなさんに提案いただく内容が、既存の事業と重複しないように、予め調査してください。
- ・ これまで15回開催した「大学生によるまちづくり提案」でいただいた提案は、市政研究センターHPに掲載していますので、参考にしてください。また、**提案内容の重複がないように確認**してください。

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/kenkyu/renkei/index.html>

3. 政策提案にかかる支援

提案の作成にあたって各種支援を行います。必要に応じてご利用ください。

(1) 出前講座の実施

提案しようとする内容に関連して、「市で行っている施策についてより詳しく知りたい」という場合には、担当課の職員が市の施策について解説します。ご希望の場合は市政研究センターまでお問い合わせください。

(2) 宇都宮市の計画や統計データ等の収集方法について

① インターネットに公開されている情報

宇都宮市公式 WEB サイトには、行政計画や統計情報を多数公開しています。既存施策の調査等にご活用ください。

- 宇都宮市公式 WEB サイト

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/index.html>

- 第6次宇都宮市総合計画

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/sougoukeikaku/1012906.html>

- ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/1007653.html>

- 宇都宮市統計データバンク

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/johokokai/gyoseisiryu/1020024/index.html>

- 宇都宮市オープンデータ

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/johokokai/opendata/1009934.html>

② 行政情報センター（宇都宮市役所 1階北側）

行政情報センターでは、市が作成した行政資料（統計、予算、計画書、議会関係資料など）をはじめ、国や県などの資料（白書、官報など）も広く収集・整理して公開しています。ぜひご利用ください。

③ ここが知りたいカード

上記で公開されているもの以外で、市が所有する情報などの提供を希望する場合には、「ここが知りたいカード」をご提出ください。内容確認の上、市が保有する情報を提供します。

（※内容によっては情報提供できない場合もありますのでご了承ください。）

4. 審査について

学生から提出された研究内容をまとめたポスター（A0サイズ縦の範囲内）に対し、審査員から講評をいただく予定です。（コメントの形式は検討中です。）

（※多数の応募があった場合は、審査方法が変更になる場合があります。）

（※ポスターは返却いたしませんのでご了承ください。）

- ・ 審査員：外部審査員2名（まちづくり関係者）、内部審査員2名

5. 前年度との変更点について（新型コロナウイルス感染症への対応）

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、学生等の安全性や授業開始に伴う時間的制約などを考慮し、ポスターによる提案を基本に実施する。

※例年行っている「発表会の開催」，「市長との意見交換会」については新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら検討する。

6. スケジュール（下線は各種提出物の締切）

- ・ 提案募集開始 5月28日（木） 市HP，記者発表，大学等への周知
- ・ 出前講座・情報提供 5月29日（金）～ 希望があれば随時
- ・ 申込書・テーマ報告書 7月10日（金） Eメール，FAX，郵送
- ・ 中間報告書提出 10月 2日（金） Eメール，FAX，郵送
- ・ 中間打合せ 10月 7日（水）～10月21日（水）
- ・ ポスター提出 11月27日（金）17時まで 郵送または持ち込み
- ・ 市民ホール展示及び提案団体へ講評内容の通知
12月21日（月）～25日（金）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
申込・ テーマ報告	5/28	7/10					
出前講座・ 情報提供	5/29					11/26	
中間報告書					10/2		
中間打合せ					10/7～21		
ポスター 提出						11/26	
市民ホール 展示							12/21～25
審査員に よる講評							12/21～25

